



令和7年（2025年）10月15日（水）10時00分 配付

<p>項目</p>	<p>令和7年度（2025年度）北海道産業貢献賞（商工鉱業功労者、観光事業功労者、認定職業訓練功労者、卓越した技能者）受賞者の発表について</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度北海道産業貢献賞（商工鉱業功労者、観光事業功労者、認定職業訓練功労者、卓越した技能者）の表彰について ・ 令和7年度北海道産業貢献賞受賞者名簿（オホーツク管内受賞者抜粋分）
<p>内容及び報道に当たってのお願い</p>	<p>次のとおり、令和7年度の北海道産業貢献賞（商工鉱業功労者、観光事業功労者、認定職業訓練功労者、卓越した技能者）受賞者が決定しましたので、お知らせします。 なお、以下の日程で贈呈式を行います。</p> <p style="text-align: right;">記</p> <p>1 受賞者 35名</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>オホーツク管内受賞者</p> <p>(1) 商工鉱業功労者（団体役員） 2名</p> <p style="padding-left: 20px;">紋別商工会議所 会頭 片岡 一道</p> <p style="padding-left: 20px;">網走商工会議所 会頭 北村 譲二</p> </div> <p>2 贈呈式</p> <p>(1) 贈呈月日 令和7年（2025年）11月18日（火） 13:00～</p> <p>(2) 贈呈場所 京王プラザホテル札幌 2階エミネンスホール</p> <p>(3) 贈呈者 三橋副知事（予定）</p>
<p>他のクラブとの関係</p>	<p>道政記者クラブと同時配布</p>
<p>担当窓口</p>	<p>オホーツク総合振興局産業振興部商工労働観光課 担当：商工労働観光課長 伊藤 電話：ダイヤル 0152-41-0634 内線 2400</p> <div style="text-align: right;"> </div>

**令和7年度（2025年度）北海道産業貢献賞
（商工鉱業功労者、観光事業功労者、認定職業訓練功労者、卓越した技能者）の
表彰について**

受賞数： 35名

○商工鉱業関係功労者【19名】

■商工鉱業功労者

- ・ 団体役員 【16名】

同一の団体または関連の団体で引き続き15年以上役職につき、
その功績が顕著な団体役員

- ・ 企業者 【2名】

道内で引き続き20年以上事業を営み、他の企業の模範となる企業者

■観光事業功労者

- ・ 団体役員 【1名】

同一の団体または関連の団体で引き続き15年以上役職につき、
その功績が顕著な団体役員

○労働関係功労者【16名】

■認定職業訓練功労者【2名】

10年以上認定職業訓練に従事し、その功績が顕著な45歳以上の者

■卓越した技能者【14名】

同一職種に25年以上従事した45歳以上の卓越した技能者

贈呈式

- | | |
|---------|--|
| (1) 日 時 | 2025年11月18日（火）13:00～ |
| (2) 場 所 | 京王プラザホテル札幌 2階エミネンスホール
札幌市中央区北5条西7丁目 |

令和7年度北海道産業貢献賞受賞者名簿(オホーツク管内受賞者抜粋分)

商 工 鉱 業 功 労 者

団体役員

氏名(年齢)	ふりがな	職名	団体名・現住所	功 績 の 概 要
片岡 一道 (80 歳)	かたおか かずみち	会頭	紋別商工会議所 紋別市	平成22年に紋別商工会議所の常議員に就任し、平成23年からは副会頭、平成28年からは会頭を務める。この間、平成23年の副会頭就任以来危惧していた、急激な人口減少や少子高齢化が引き起こす地域経済の加速度的疲弊への対策として、平成28年に「紋別成長戦略ビジョン」を策定し、地域全体の長期的な目標と方向を共有することとした。また、市内事業所の利便性向上を目的として、それまでそれぞれの立場で対応していた創業支援制度や、各種補助金の活用を促進するため、本所内に「ワンストップ窓口」を設置したことで、利用者の利便性の向上だけでなく、市内事業者への迅速な支援を可能にするなど、組合活動を通じて本道の産業経済の発展に寄与している。
北村 讓二 (76 歳)	きたむら じょうじ	会頭	網走商工会議所 網走市	平成19年に網走商工会議所の常議員に就任し、平成22年からは副会頭、平成28年からは会頭を務める。この間、網走市の観光振興、地域振興に従事しており、網走市の中心市街地活性化のため、商店街、飲食店への誘客や、冬期間の魅力アップを図るホワイトイルミネーション事業に取り組んできたほか、会頭就任後は、副会頭職を4人体制に増員し、専門スキルを持った人材の配置や、若手に副会頭を担わせることで、次世代のリーダーを育成するなど、組織の人材育成にも力を発揮してきた。また、「北海道横断自動車道」の女満別、網走間の整備に向けて、関係機関団体と連携し尽力するなど、組合活動を通じて本道の産業経済の発展に寄与している。